金華　　地区防災コミュニティ計画

基本方針

災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防・察などの防災機能が十分に対応できない可能性があります。そのような時、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

「東日本大震災」や「熊本地震」の際、被災者の救出に当たって活躍したのは地域の住民等であり、災害時においては、「自助」、「公助」とともに、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが、ともに支え合う「共助」が重要です。

金華地域では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

この取り組みを計画的に推進するため、地域住民を主体とした防災組織を構築し、この行動の規範としての「金華16地区防災コミュニティ計画」を定め、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」、「公助」を確実に実行するため、この計画に基づく施策・事業などに取り組み、地域防災力を高めていきます。

金華　　地区防災隊の役割

|  |
| --- |
| 地区の安全点検平時時　　　　⇒　　 　防災知識の普及や啓発　　⇒　　　災害に備えるための活動を行います。防災訓練初期消火避難誘導災害時　　　⇒　　 　　救出や救護　　⇒　　人命を守り、被害の拡大を防ぐための活動を行います。情報の収集や伝達避難所開設と運営 |